



「ふふっ、大丈夫。騎士さんも喜んで見てくれてるわよ。」



「ふふっ」

「ふふっ」

「ミニツラさん……彼の前で、こんな……恥ずかしいです……」



「まずはキスから♡」



♡♡♡

♡♡♡

「キス...♡♡♡」

「んむっ……声、出ちゃう……」



んむっ♡
んむっ♡

んむっ♡

んむっ♡

んむっ♡
んむっ♡

「舌出して？ランファさん、
キスだけで甘えん坊♡」





♡♡

♡♡



♡♡♡♡

♡♡

ちゅっ……じゅるっ、れろれろ……くちゅっ、はむっ……♡



「ひゃあつー！騎士さん見てるの！……！」

んげいん

んげいん



「ほら、騎士さん。ランファさんのニブ、
もうびしょびしょ……
指をこうくちユクチュユすると、
すぐに腰を振っちゃうエッチな子なの」

びしょ♥





hina

「あぁっ……ミンラさん、指……奥はっかり……っ」

んんんんん

♡♡♡

♡♡♡

「可愛い声出してる……
ランファさんは本当に甘えん坊なんだから♡」

びちゃ♡

ちゅわん
ちゅわん

「いやっ……そんなの……見ないで……恥ずかしいよお……」

んんんんん

んんんんん

「ランランさん、自分で脚開いて…
ほら、くはあして……
騎士さんに気持ちいいよ、
ちゃんと見せてあげて」

ひん





「大丈夫、怖くないわ。
騎士さんが優しく入れてくれるから……」

「……うん……」

カチカチ

ほま

hina

ひろ

「あんっ！胸と……下……同時に……だめえっ！」

んっっっ

んっっ

もみっ

♡♡

「ランリアさんの胸、こんなに硬くなってる……
こっやって揉んであげるね♡」

ちゅっ
ちゅっ

んっっ
んっっ
んっっ
んっっ



honey

「ひゃうっ……ミンラさん、そこ……敏感すぎる……」

んんんん

もみゅ

♡♡

「こもね……クリちゃん、こんなに腫れてる騎士さんが突きたびに、コロコロしてあげる」

ちゅわん
ちゅわん

んんんん
んんんん
んんんん
んんんん



「ミソラさん……キス……もっと……舌、絡めて……
んむっ……はあ……気持ちいい……」



んむっ♡



んむっ♡

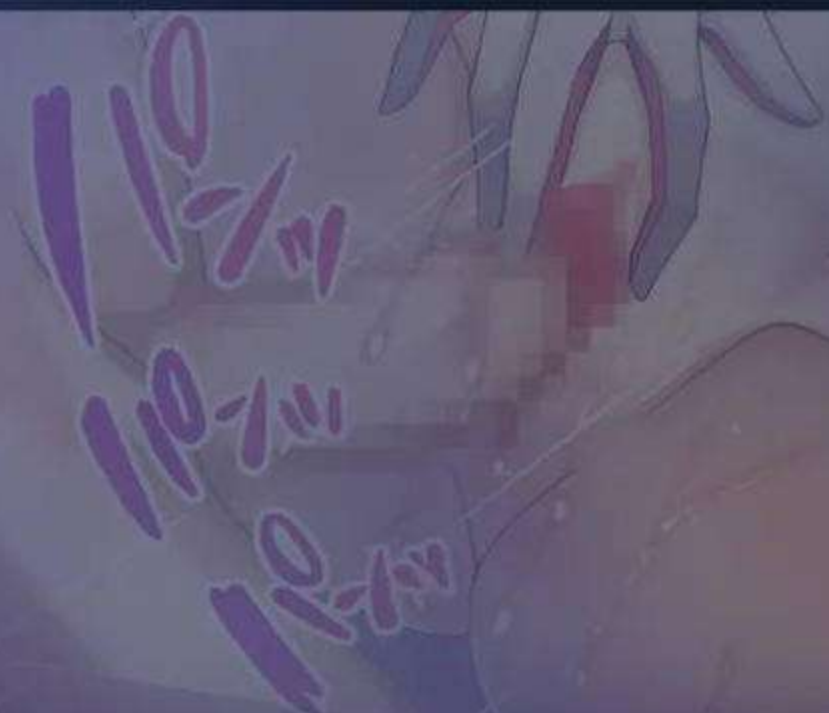
んむっ♡

んむっ♡



「んむっ……はむっ、れろれろ♡」

んむっ♡





「騎士さん、もっと激しく……
ランファさん、もう限界みたいよ♡」

「だめっ……イッちゃう……」



♡♡♡

♡♡♡

もみゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

しゅ♡
しゅ♡
しゅ♡
しゅ♡



ひん

「はあ……はあ……まだ……出てる……
うう……恥ずかしい……ミノラさん、見ないで……涙出ちゃう……」

んんんん

もみん

んんん

♡♡

「ふふ……大丈夫よ。
すごく気持ちよさそうだったわ♡
失禁まだ止まってないみたいだし……」

「……恥ずかしいけど……まだ、したい……かも……」

んげいっ

もみっ



「ほら、騎士さんも一緒に……
風呂場で綺麗にして……続きしようね♡」

ドロっ

パァァァ……

